



平成17年7月11日

各位

会社名 養命酒製造株式会社  
代表者名 代表取締役社長 塩沢 太朗  
(コード番号 2540 東証・名証 第1部)  
問合せ先 取締役総務部長 北原 正彬  
(電話 03-3462-8125)

## 養命酒製造株式会社と大正製薬株式会社の 業務提携および資本提携に関するお知らせ

養命酒製造株式会社(以下、養命酒製造)と大正製薬株式会社(以下、大正製薬)は、下記の通り、資本提携を含めた業務提携を行うことについて合意に達し、本日開催の各社取締役会において決議しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 本提携の目的

近年、生活者の健康志向が高まり、セルフメディケーションが普及するとともに生活者ニーズの多様化が進行しております。また、大衆薬市場の縮小、規制緩和に伴う流通構造の変化など、かつてない事業環境の変化に直面しています。

このような状況のもと、今後想定されるこれらのセルフメディケーション市場の裾野拡大に対応していくためには、従来の医薬品・食品の垣根を超えた競争に対応し、新たな着想・視点で健康関連市場における成長機会の取り込みを図る必要があるものと判断し、業務提携を進めることと致しました。

養命酒製造は、現在推進中の中期経営計画(別添資料ご参照)達成のため、両社の協力関係を活用した新市場の開拓を加速します。

更に、本提携を効果的且つ強固なものとするために併せて資本提携を行うことに合意致しました。

## 2. 業務提携および資本提携の内容

### (1) 業務提携の内容

両社合同の提携委員会を設置し、今後以下の内容について、具体的に検討を進めてまいります。

- ・ 新商品の共同開発
- ・ 「生薬」の特性を活かした市場開拓
- ・ 中国市場への進出
- ・ 営業・店頭販促の効率化

### (2) 資本提携の内容

養命酒製造および大正製薬は、上記業務提携をより強固なものとするため、以下のとおり資本提携を行います。

#### ①大正製薬による養命酒製造株式の取得

大正製薬は、養命酒製造による自己株式処分の引受け等により、養命酒製造の発行済株式総数(33,000,000株)の6.6%に相当する2,178,000株を取得します。

取得株式数、取得金額および取得前後の所有株式状況

異動前の所有株式数：0株(大正製薬による所有割合：0%)

取得株式数：2,178,000株

異動後の所有株式数：2,178,000株(大正製薬による所有割合：6.6%)

大正製薬による養命酒製造株式の取得金額は、平成17年6月9日から平成17年7月8日まで(1ヶ月間)の東京証券取引所における養命酒製造株式の終値の平均値に取得株式数を乗じた金額であります。

#### ②養命酒製造による大正製薬株式の取得

養命酒製造は、大正製薬による養命酒製造株式の取得価額相当額を上限に、大正製薬株式を市場買付により取得致します。

### 3. 両社の概要（平成 17 年 3 月 31 日現在）

1. 商号	養命酒製造株式会社		大正製薬株式会社	
2. 主な事業内容	養命酒などの製造販売		医薬品などの製造販売	
3. 設立年月日	大正 12 年 6 月		昭和 3 年 5 月	
4. 本店所在地	東京都渋谷区南平台町 16-25		東京都豊島区高田 3-24-1	
5. 代表者	代表取締役社長 塩澤 太朗		代表取締役社長 上原 明	
6. 資本の額	1,650 百万円		29,804 百万円	
7. 発行済株式数	33,000,000 株 ※平成 17 年 6 月 30 日現在		320,465,510 株 ※平成 17 年 6 月 29 日現在	
8. 株主資本	29,310 百万円		517,634 百万円	
9. 総資産	35,184 百万円		613,802 百万円	
10. 売上高 ※平成 17 年 3 月期	15,015 百万円		279,437 百万円	
11. 決算期	3 月		3 月	
12. 従業員数	372 名		5,339 名	
13. 主要株主	株式会社加ト吉	5.28%	財団法人上原記念生命科学財団	12.99%
	三菱信託銀行株式会社	4.57%	上原 昭二	11.06%
	株式会社八十二銀行	3.94%	住友化学株式会社	3.67%
	エムエルアイイーエフシー・ントリーティカストデー ーアカウント	3.82%	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会 社(信託口)	3.16%
	三井住友海上火災保険株式会社	3.33%	株式会社三井住友銀行	3.02%
14. 相手方当事 者との関係	特別な関係はありません。		特別な関係はありません。	

#### 4. 業務提携および資本提携の日程

- 平成 17 年 7 月 11 日 養命酒製造・大正製薬取締役会決議(業務・資本提携の決議)
- 平成 17 年 7 月 11 日 養命酒製造取締役会決議(自己株式処分決議)
- 平成 17 年 7 月 11 日 業務提携および資本提携に関する契約書締結
- 平成 17 年 7 月 27 日 自己株式の払込期日
- 平成 17 年 7 月 28 日 養命酒製造による大正製薬株式の市場買付開始
- 平成 17 年 8 月上旬 提携委員会の発足

#### 5. 今後の見通し

本提携が業績に与える影響につきましては、今後精査していく予定であり、現段階で詳細は未定です。

以上

養命酒製造 株式会社

## 中期経営計画の進捗状況と 大正製薬との提携に関する説明資料

2005年7月11日

### 会社概要

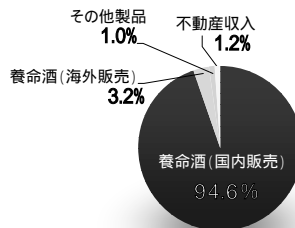
#### 養命酒製造株式会社

所在地 東京都渋谷区南平台町16-25  
設立 大正12(1923)年6月20日  
資本金 16億5,000万円  
株式 東証市場第1部、名証市場第1部上場

決算日 毎年3月31日  
年間売上 150億円(平成16年度)  
従業員数 372名(平成17年3月31日現在)

#### 事業内容

養命酒の製造販売、酒類、医薬品等の製造、販売  
前各号の原料品・副産品の製造販売  
前1号2号の原料品および酒類、医薬品等の輸入  
食料品の製造販売、輸入およびそれらの仲介  
理化学、薬学等に関する分析および検査の受託ならびに  
これらに関する コンサルティング業務  
環境等の計量証明に関する事業およびコンサルティング業務  
不動産の売買、貸借、仲介および管理  
前各号に付帯または関連する一切の事業

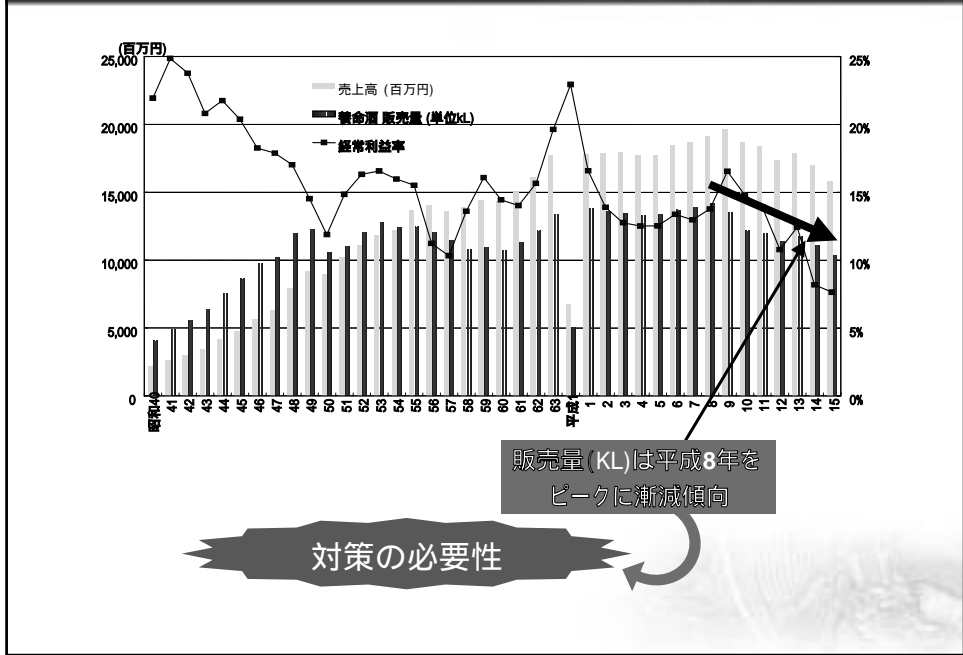


# 養命酒の紹介

養命酒に含まれる14種類の生薬

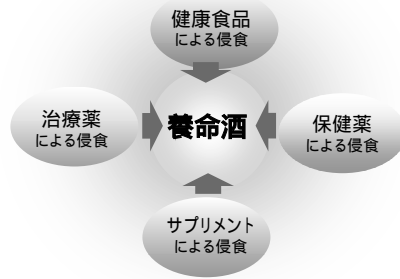
ケヒ	コウカ	ジオウ
シャクヤク	チョウジ	トチュウ
ニンジン	ボウフウ	ウコン
ヤクモソウ	インヨウカク	ウショウ
ニクシヨウヨウ	ハンピ	

# 養命酒製造の事業環境分析



## ■ 事業環境悪化の背景

養命酒マーケットの競争環境の変化



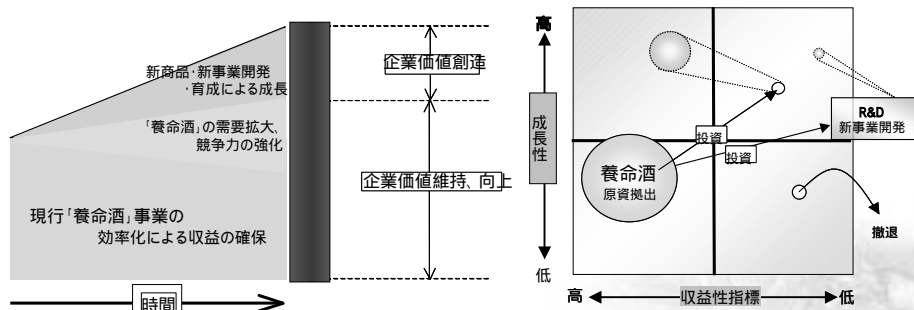
## ■ 業績悪化の背景

養命酒への高い依存度  
 養命酒の売上構成比率 約98%

高コスト体質  
 製造コスト、広告宣伝費など

「養命酒」事業のコストダウンの徹底による高収益化  
 既存ビジネスモデルを活かした健康関連新商品の投入  
 生薬関連技術と顧客資産を活かした新規事業の展開  
 養命酒以外の既存事業の抜本的見直し  
 マネジメント体制の再構築

**2007年3月期ROE 5%を目標に取組み**



## -1 パッケージング変更による需要喚起

⇒携帯に便利な小容量の「養命酒」等消費者ニーズへの対応

## -2 広告宣伝費用の効果的配分によるコスト削減

/ 広告宣伝効果の改善

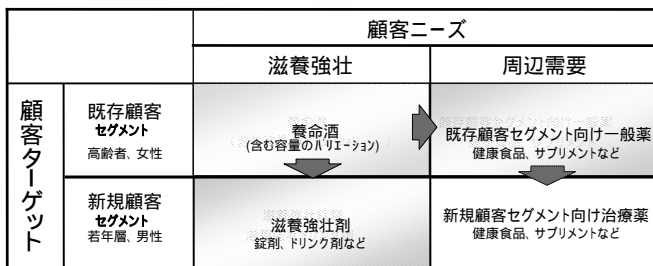
⇒広告宣伝の一定比率を、来院者向けの病院、インターネット等によるコミュニケーションやPOP、試供品提供、等のマス広告と連動した店頭販促に振り向ける。

## -3 製造原価の見直しによるコスト削減

⇒アルコール・ブドウ糖の外部調達によるコストダウン。

⇒余剰人員の営業部門シフト、遊休地の有効活用。

# - 新商品・新事業開発の展開



	概要	顧客ターゲット	マーケティング	チャネル	課題
	既存「養命酒」ビジネス ・薬用酒、薬味の範疇での 滋養強壮 ニーズ対応	高齢男女及び年齢を問わず女性	問屋経由の開放型流通、 大量広告宣伝によるプル 型マスマーケティング	ドラッグストア・チェーン、 薬局・薬店、酒販 店、量販店	「養命酒」需要の低減傾向
	滋養強壮ニーズの多様化への対応 ・滋養強壮剤 ・滋養強壮ドリンク剤	上記顧客セグメントの潜在 顧客(アルコールや養 命酒の味が苦手な人)若 年層、男性等、新規顧客	ダイレクトマーケティング	ダイレクトチャネル	(通販) ・顧客リストの蓄積 ・既存顧客とのシナジー
	滋養強壮以外のニーズへの対応 ・漢方薬 ・サプリメント ・健康食品	既存「養命酒」ユーザー及 び高齢男女中心	ダイレクトマーケティング	ダイレクトチャネル	(通販) ・顧客リストの蓄積 ・既存顧客とのシナジー

## 養命酒以外の事業の見直し

- 事業撤退基準に基づく事業存続の可否の意思決定

「養命酒」以外の既存事業のみならず、新規事業を含め、事業撤退基準を厳格に適用。

## マネジメント体制の再構築

- 株主の期待に沿う企業業績を担保できる体制の確立

- コーポレート・ガバナンス体制の刷新

経営の監督機能と執行機能の役割分担の適正化

株主価値を重視した経営目標の導入

- 組織ミッションの明確化とそれに即した組織構造の実現

- 組織目標の実現を重視した業績管理制度の確立

# 中期経営計画初年度の成果

## 養命酒事業の収益改善

- 売上高広告費比率33.9% 32.0%

⇒ 同時に広告内容の見直し  
を実施、効果測定を行い  
つつ全面導入を検討中

- 営業人員の増強

- アルコールの外部調達決定

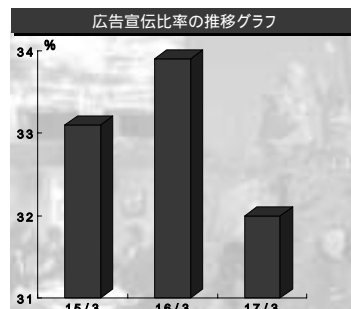
- 外部委託業務の社内取り込み

- 新商品・新事業開発の展開

- ビタミン含有保健薬の開発申請

2処方申請中

販売方法:ダイレクトマーケティングを検討中





- 養命酒以外の事業の見直し
  - しょうちゅう、本みりん、ミネラル水事業の戦略的位置付けの再確認
  - 関連会社ヤマツル(株)の味噌事業の撤退
  
- マネジメント体制の再構築
  - 取締役役員数16名を10名に削減
  - 執行役員制の導入
  - 従来の常務会を廃止し、経営企画会議と経営会議を新たに設置
  - コンプライアンス委員会・危機管理委員会・環境委員会の設置および運営
  - 役員退職金制度の廃止

### 足許の事業環境の再確認

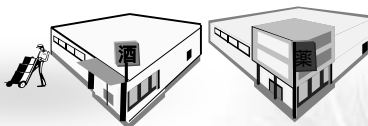
#### ■ セルフメディケーションの進展

- 食品・医薬・飲料・酒類など業態の垣根を越えた競争

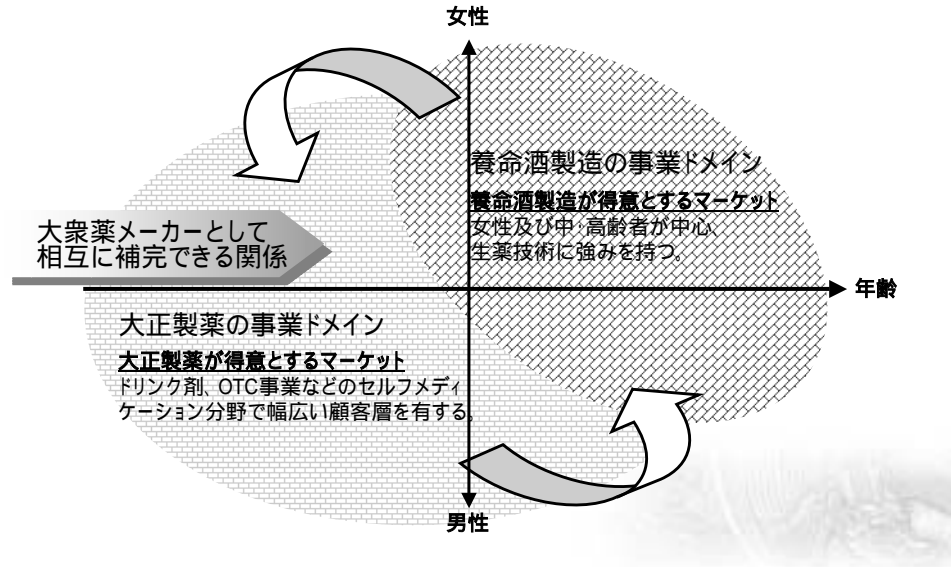


#### ■ 販売店の集約化の影響

- ドラッグストア、酒類ディスカウントストアの集約化により、製販の  
パワーバランスに変化



## ■ 大正製薬との提携の背景



## 業務提携

- 両社合同の提携委員会を設置し、今後以下の内容について、具体的に検討を進めてまいります。

- 新商品の共同開発
- 「生薬」の特性を活かした市場開拓
- 中国市場への進出
- 営業・店頭販促の効率化

## 資本提携

- 養命酒製造および大正製薬は、上記業務提携をより強固なものとするため、以下のとおり資本提携を行います。

大正製薬による養命酒製造株式の取得

養命酒製造による大正製薬株式の取得

これらの施策により中期経営計画の達成をより確かなものへ！